

尾張南支部

平成29年度 災害廃棄物処理に関する行政担当者との合同会議

尾張南支部（金田英和支部長）は2月16日（金）午後2時からアイプラザ半田小ホール（半田市東洋町）にて、「災害廃棄物処理に関する行政担当者との合同会議」が開催されました。第二回目を迎える合同会議は、高い確率で起きることが予想される大地震に備え「災害時における廃棄物処理の協力に関する協定」を実効あるものにするための再確認となりました。

合同会議は金田支部長が司会進行を執り行い、開会の挨拶では会議の出席者の方へのお礼と、会議の次第について説明がありました。

協会事務局からは参与 安藤 均氏より挨拶があり、愛知県災害廃棄物処理計画を踏まえ、本年度中には全ての市町の災害廃棄物処理計画が策定されると聞いていますので、具体的なマニュアル作りに取り掛かる際、協力できることがあれば支援させていただきたいとのことでした。

次に行政担当者としてご出席いただきました常滑市環境経済部生活環境課長 関 公司氏より挨拶がありました。関課長は、常滑市は今年度災害廃棄物処理計画を策定し始めたところであり、計画では3年以内に廃棄物の処理を完了するということになっているため、計画通りに実行するためには民間の事業者様のご協力が不可欠であり、この機会に皆様とお話しさせていただくことは大変有意義であるとのことでした。

協会事務局長 小坂元信氏からは、平成28年9月、29年9月に実施されたSafetyLink24 安否確認模擬訓練の尾張南支部における回答状況について結果報告がありました。28年の訓練において尾



出席者代表の挨拶をする
常滑市環境経済部
関課長

張南支部市町村の管内では100%の回答率でしたが、29年は70%でした。また30年2月15日に模擬訓練を実施したところ、尾張南支部管内的一部の行政から、メール文が文字化けしているとの報告があったため、原因を調査中であるとのことです。

安否確認模擬訓練の報告を受けて金田支部長は、緊急時に使われる安否確認のシステムが、平時に100%にならないということは問題ではないかということで、協会事務局は模擬訓練の結果について応答のなかったところに対して追跡調査を行っていました。

グループディスカッションは、A班（半田市、常滑市、南知多町、美浜町、武豊町、リーダー：久栄運輸（株）中嶋久則氏）、B班（東海市、大府市、阿久比町、リーダー：サンコーリサイクル（株）金田英和氏）に分かれ、テーマ「その時私たちは」について話し合いが行われました。

グループディスカッション後、A班からは、（株）野間砂鉱業所専務取締役 都筑 章氏、同業務部安全衛生推進者一般粉じん関係公害防止管理者 鈴木幹啓氏、B班からは、（株）日誠取締役 栗山晃一氏が各班の代表としてまとめの報告がありました。

その後協会事務局 安藤参与より講評があり、閉会の挨拶を災害廃棄物処理対策に関する特別委員会委員長 平沼辰雄氏が述べ閉会となりました。



A班のまとめを発表する
(株)野間砂鉱業所 鈴木氏(左)、
都筑専務取締役(右)



B班のまとめを発表する
(株)日誠 栗山取締役

News

支部・青年部ニュース

テーマ：大地震発生 知多半島沿岸部津波被害発生 その時私たちは？

災害廃棄物に関する協議会グループディスカッション A 班

リーダー：久栄運輸（株）中嶋久則氏

リーダー 行政から尾張南支部へ期待したいことは？

常滑市 常滑市は今年、災害廃棄物に関する対策を検討中であり参考になることを期待しています。

半田市 行政だけではできないところもあり、人材が不足するため、手を貸していただきたい。（収集運搬、仮置き場の運営等）

久栄運輸（株） がれきの仮置き場は決まっていますか？

半田市 決まっている（クリーンセンター）が、それだけでは足りません。民間にも協力していただきたい。

南知多町 南知多町は、立地条件が悪く津波の被害が大きくなることが予想される。がれきの運搬等については、半田市と同じです。

武豊町 発災してから最初の1週間は、3名で対応しなければならないです。計画立案からマニュアルの作成が、いかにできるかが課題です。

美浜町 計画については策定済みです。現在、姉妹町がないため、資材のアテが無いので自ら調達する必要があります。一連の流れを作りたい。（ルートによって分別の仕方も変わる。）どこで何ができるか教えてほしいです。

（株）テクア 東北や熊本などの被災地に行ったこ

とが無いので分かりませんが、同じがれきでも濡れたものと、そうでないものなどで処理の仕方が変わるとと思う。種類をより具体的に決めた方が良いのではないか。また、生活環境の復旧が第一ではないか。（株）エイゼン 燃料、食料は準備するが、救済を前提とした場合に足りなくなったら優先的にまわしてもらうことができるのか。

常滑市 運搬車両を優先させるが、燃料については考えていなかった。

（株）タツノ開発 要請があれば、道路が開通していれば支援が可能です。燃料については、取引業者が配達できる状況であれば問題ない。また、仮に道路が塞がっていても、重機を使用して除去することもできる。仮置き場を事前に教えていただければ、できる範囲で自発的に活動する。

豊田ケミカルエンジニアリング（株） どの段階で手を貸せばいいのか？最後の片付けの段階になれば、弊社の知識を活用して最大限に力を発揮できる。

（株）トウチュウ 町ごと、市ごとの話し合いが必要では？近隣、他業種・同業他社との連携も必要では？計画の骨格ができたら、シミュレーションすると良いのでは。小さい範囲でもやってみると、机上で話し合うよりも違った結果が出るかも知れない。

● A班

愛知県尾張県民事務所知多県民センター環境保全課

廃棄物対策 G 技師 奥野 太郎

半田市市民経済部クリーンセンター 副主幹 堀崎 正俊
主事 片岡 瑞

常滑市環境経済部 生活環境課長 関 公司
環境衛生担当主任 亀井 哲也

南知多町厚生部環境課 環境衛生係長 松本 伸弘
主幹 富谷 佳宏

美浜町経済環境部環境保全課 環境衛生担当・課長補佐 鳥居 秀司
(一社) 愛知県産業廃棄物協会 参与 安藤 均

(株) エイゼン／知多郡武豊町字向陽 3-1
代表取締役 永田 喜裕

専務取締役 永田 幹人

業務部長 野田 文明

係長 飯田 仁

（有）大井毎日／知多郡南知多町大字大井字南側 43-2

丹羽 等史

久栄運輸（株）／半田市成岩本町 2-72

代表取締役 中嶋 久則

(株) タツノ開発／半田市岩滑西町 2-53-1

専務取締役 中村 積

営業部次長 伊藤 大知

(株) テクア／常滑市泉町 1-44 代表取締役 平村 成一

(株) トウチュウ／知多郡美浜町大字野間字中新田 5
安全環境 BCP 推進部課長 木下 秀樹

野間事業所業務課長 浅井 鉄男

豊田ケミカルエンジニアリング（株）／半田市日東町 1-30
営業部長 木村 照始

(株) 野間砂鉱業所／知多郡美浜町奥田石畑 23
専務取締役 都筑 章

業務部長 鈴木 幹啓

安藤参与

- ・今回の協定については、基本的に地元で声掛けを行って活動し、それでも足りなければ愛産協で穴埋めできるメンバーで対応するというスタンスです。
- ・防災訓練について
豊川市、幸田町にて愛産協のメンバーが出て訓練しています。
- ・仮設トイレについては、愛知県衛生事業協同組合と話し合いができます。

(株)野間砂鉱業所 災害発生時の収集運搬について、産廃収運業者が一般廃棄物を運搬してよいのか(許可上の問題は?)

安藤参与 一般廃棄物については、市町村が委託すれば、許可が無くとも可能です。また、処理施設は、施設許可が必要です。そのため、市町村は収集運搬、処理が可能な業者を把握する必要があります。また、災害時に出た廃棄物は事業活動によってでた物ではないので全て一般廃棄物となります。

知多県民センター その際の業者選定に関しては、産業廃棄物業者の現行の許可を参考にできるのではないか?

半田市 色々考えることがあり、良い機会だった。今後、情報交換していくならと思う。計画を作つて

も動かす必要がある。訓練等も行っていきたいので協力してほしい。

南知多町 計画の中身について、具体的なものが必要。協力してほしい。

美浜町 計画を作ったが、これからどう反映していくかが課題でありシミュレーションして初めて分かることもあると思う。これから、このような場を続けていく中で、顔の見える関係を作つていただきたい。

安藤参与 BCP作成などで協力できることがあれば協力したい。



News

支部・青年部ニュース

テーマ：大地震発生 知多半島沿岸部津波被害発生 その時私たちは？

災害廃棄物に関する協議会グループディスカッションB班

リーダー：サンコーリサイクル（株）金田英和氏

東海市 10月に策定した災害廃棄物処理計画の中で一時仮置場の運営をやっていただけだと心強いです。仮置場の必要面積が確保できていないため、入ってきた災害廃棄物を早く出すためのノウハウについて皆様のご協力をお願いしたい。

大府市 仮置場の確保をしているが、災害時には優先順位等があるため確実に使用できるかわからぬ。重機の手配等協力願いたい。

阿久比町 仮置場確保～開設～運営の流れを考えると人材が不足します。集まったものの再資源化が重要と考えているので協力をお願いしたい。

東浦町（事務局代読） 人員の不足が予想されるため、人員の支援をお願いします。また、本町では重機等を有していないため資機材の支援をお願いしたいと考えています。

知多市（事務局代読） 発災後、特に災害廃棄物の仮置場や処分場への収集運搬について、ご協力いただきたい。

木材開発（株） 施設運営が主です。トラック2台なら可能です。分別されたものを受け入れます。

ダイツー（株） 中間処理が主です。自社の敷地の中では受入は難しい。応援できても10%程度です。

● B班

愛知県尾張県民事務所知多県民センター環境保全課

廃棄物対策G技師 飯田泰地

東海市環境経済部清掃センター 統括主幹 小林きよみ

廃棄物対策グループ主幹兼統括主任・

リサイクル推進グループ主幹統括主任 船津敦司

大府市市民協働部環境課 環境衛生係長 鈴木善和

環境衛生係主任 鳥羽健司

阿久比町建設経済部建設環境課 環境係長 細川愛

(一社) 愛知県産業廃棄物協会 事務局長 小坂元信

(株) アグメント／知多郡阿久比町草木字末広22

インセント（株）／大府市月見町4-38 総務部長 大谷旭弘

(株) 上野清掃社／東海市名和町上大廻間23 里山裕晃

代表取締役 奥野智美

オオブユニティ（株）／大府市北崎町駒場88 新井栄治

環境ソリューション事業部部長 浜辺久

道路が通行できれば重機は可能です。建設業部門もあるので、そちらで協力できると思います。建物の地震対策は出来ています。

(株) アグメント 災害時の仮置場として提供が可能です。農場の開放も条件的には可能です。運搬作業での応援は可能です。

(株) 上野清掃社 山間部にあるため浸水は問題ないが、道が細いので道中が心配です。

サンコーリサイクル（株） 東海市の津波の避難所として開設している。※2週間100名分（食糧、避難品等）車両協力は可能です。

インセント（株） 処分業が主です。災害時に仮置場として提供できるのは少ないが、会社に損害がなければ対応できます。

オオブユニティ（株） 車両は確保しているので対応可能です。道路事情がよければ受入も可で、仮置場としての協議の上であれば、提供できるのではないかと思います。

協材碎石（株） 仮置場の提供は難しいです。過去に東海豪雨時の災害廃棄物の搬入先としてASECに仮置場をつくった際、当社の碎石を敷きならした経緯があります。仮置場を作る様な場づくりは可能

協材碎石（株）／東海市南柴田町二の割170-7

部長 濑戸雅也

西尾太佑

サンコーリサイクル（株）／東海市名和町ニノ下11-1

代表取締役 金田英和

取締役部長 森竜也

顧問 澤木謙男

ダイツー（株）／大府市横根町新江15-11

執行役員 山本弘幸

トーエイ（株）／知多郡東浦町大字藤江字ヤンチャ28-1

課長 柳原健一

所長 稲垣大輔

(株) 日誠／知多市八幡小根14-29

取締役 栗山晃一

木村開発（株）／東海市浅山3-3

鈴木秋巡

(株) リバイブ／弥富市西中地町五右135-2

代表取締役会長 平沼辰雄

なのでそのような場面があれば声をかけて下さい。
トーエイ（株） 津波の影響を受けなければ受入可能で、運搬作業場の重機は回送できませんが、提供はできます。

東海市 道路の啓開についてはまだ未定です。

阿久比町 マニュアルでは道路の部局だが、緊急輸送道路から順に行います。

サンコーリサイクル（株） 「緊急通報安否確認システム Safetylink24」について、実際にも同じメールの内容か？

小坂事務局長 内容はリクエストして頂きたい。

サンコーリサイクル（株） 東海市の災害時の仮置場、ゴミ回収の初動は清掃センターが主体となります。

大府市 各市町村取りまとめは県民センターから県への流れはできている。

■感想

知多県民センター 顔を合わせて話し合いができる良かった。このような会議を定期的に開催されれば実際もスムーズにいくと思う。

平沼災害廃棄物処理対策特別委員長 会員さんがBCPを早く作成することが大切です。自分が生き残って何ができるのかということです。

木材開発（株） 作業フローについて、全部が一つになってダイコーの教訓を踏まえた計画（案）を作りその中でできる事とできない事を出してもらうと良いと思います。

（株）アグメント Safetylink24 の有無ではなく、何が初動でできるのか決めておくことが大切だと思います。

阿久比町 会議は良い話が聞けました。

（株）上野清掃社 太い線をきちんとほっきりしてほしいです。

サンコーリサイクル（株） 日々仕事が優先になります。県とは話をすると市町村とはあまり接点がないのでこのような会議は続けてほしいと思っています。

インセント（株） 話を聞いて社内的にも足りないところがあることがわかりました。縦横がしっかりとできない問題があり、そのようなことを解決できたら良いと思います。

知多県民センター 備蓄、重機、燃料など参考になりました。

サンコーリサイクル（株） 地域の防災訓練には防災についてのメニューがあります。協会にも必要だと思っています。

オオブユニティ（株） 自社の体制を整えていくことが必要であると考えています。

協材碎石（株） 各社、各市町村の考え方を聞けて大変良かったです。社内で議論したいと考えています。

トーエイ（株） 社内の避難訓練はするが、電源をどうするかなど様々なシミュレーションを行ってマニュアル化してほしいと思います。

小坂事務局長 支部が主体となって行動するシステムをつくる必要があります。コミュニケーションが必要と考えています。

大府市 Safetylink24 を使って応援要望するのか、県を通じて行うのか、整理をしてほしいと思います。

東海市 愛産協と連携した訓練ができたら良いと思います。定期的にこの様な会議は大変ありがたく思います。食品残渣は混乱すると思うし、有機廃棄物についても助言して頂けると助かります。

